



特許 第1438822号



SG安全基準

赤ちゃん医学から生まれた

Aprica

ハイローベッド&チェア コンパクト

取扱説明書 / 保証書

室内用の新生児から48月まで体重18kg以下のお子さま1人用簡易なベッド、兼用チェアです。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。
また、お読みになった後は、**本書は必ず保管してください。**

もくじ

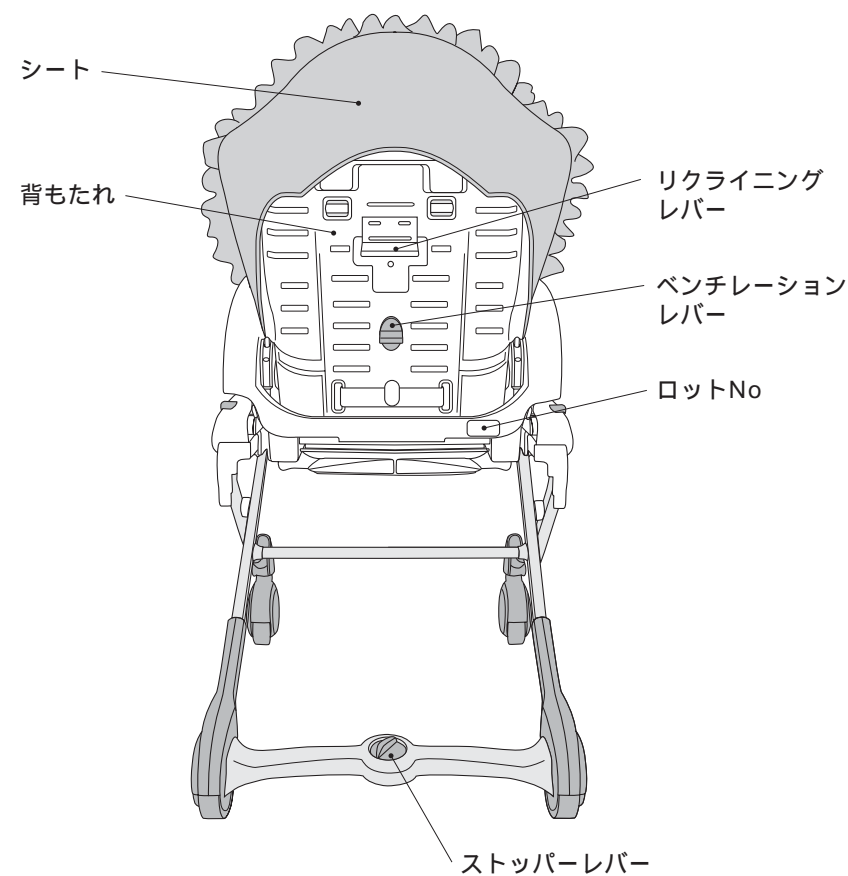
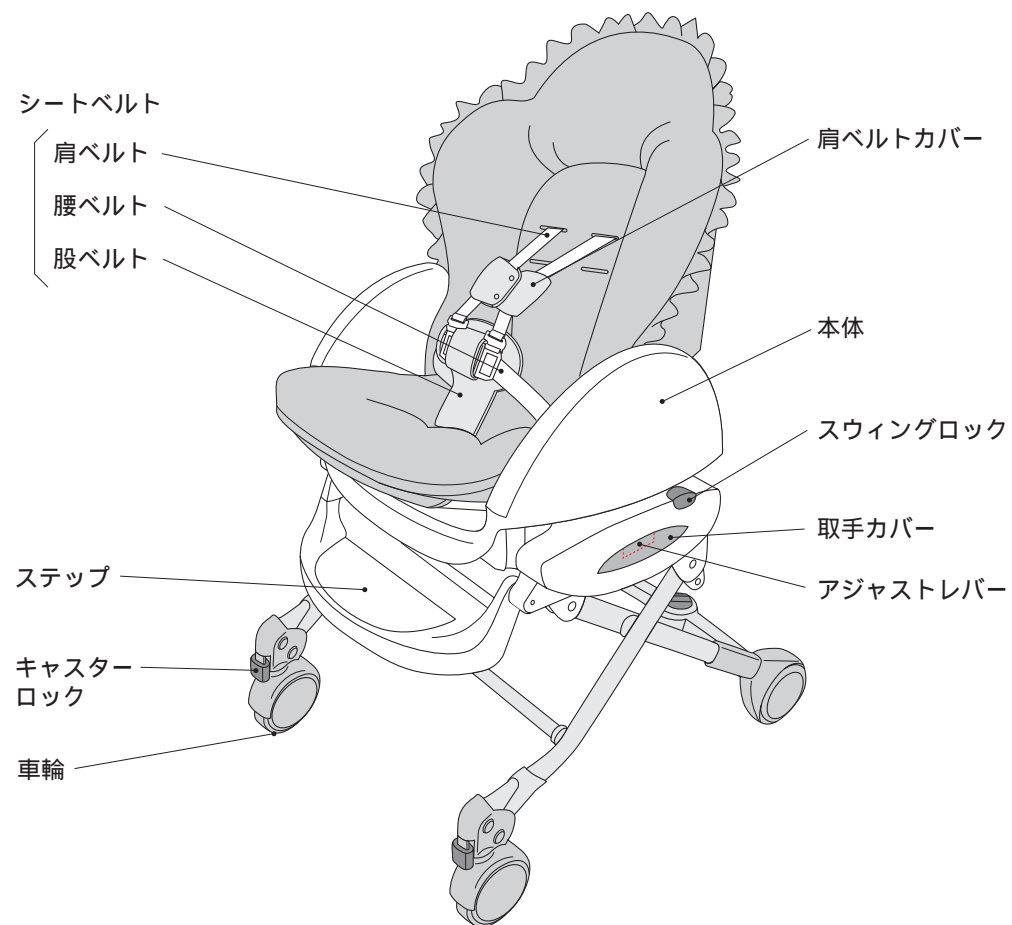
各部の名称	1~2	気道閉塞マモールパッドの取り付け方	16
本体と付属品の名称	1~2	お子さまを乗せる時	17~18
ご使用上の注意	3~8	お子さまの乗せ方	17~18
使用条件	3	日常のお手入れ	19~21
連続使用時間について	3	シートの取り外し方	19
表示内容について	4	肩ベルトの取り外し方	20
警告	4~7	股ベルトの取り付け、取り外し方	20
注意	8	腰ベルトの取り付け、取り外し方	20
禁止事項	8	縫製品のお手入れ方法	21
ご使用前の点検	9	樹脂部分のお手入れ方法	21
操作方法	10~14	金属・パイプなどのお手入れ方法	21
キャスターロックの使い方	10	車輪のお手入れ方法	21
ストッパーの使い方	10	保証とアフターサービスについて	21
リクライニングの方法	11	アフターサービスについての連絡先	22
高さ調節の方法	11	保管のしかた	22
スウィングの使い方	12	廃棄方法	22
ベンチレーションの使い方	13	SGマークについて	22
テーブルの使い方	14	保証書	裏表紙
お子さまを乗せる前に	15~16		
肩ベルト位置の調節方法	15		

各部の名称

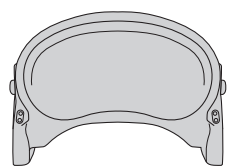
- ・取り外してある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。
- ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

- ・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどをわかりやすくするため、現物とは多少異なることがあります。
- ・本製品の取扱説明書や警告文での『簡易なベッド』とは、寝返りが出来るベッドの大きさを有さない製品を表しています。

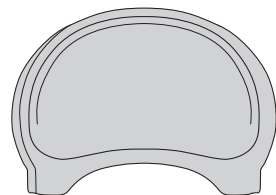
本体と付属品の名称



テーブル 小テーブル又は大テーブルが付属

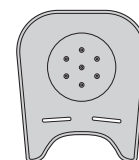


小テーブル



大テーブル

気道閉塞マモールパッド
採用機種のみ



付属品



取扱説明書
(本書)

ご使用上の注意

使用条件

- ・お子さまの発育に合わせて使用してください。
月齢の表示は目安ですので、お子さまの発育により個人差があります。
- ・表中の ○ は使用可能、× は使用不可能を示しています。

発育状態の目安 (月齢の目安)		新生児～首がすわるまで (2・3月頃)	首がすわってから～ひとり 座りができるまで(7月頃)	ひとり座りが出来る～ 18kg以下(7月～48月)
参考体重		2.5kg～7kg	7kg～9kg	9kg～18kg
スウィング		○	○	×
安全ベルト	肩ベルト	必ず使用	・座高46cm(参考月齢18月)まで使用し以後は 使用不可。(収納する)	
	腰・股ベルト	必ず使用	必ず使用	36月頃まで必ず使用
テーブル		○	○	○
リクライニング		①	①	② ③

連続使用時間について

- ・お子さまが使用する時間は、1回30分から1時間が適当です。(繰り返しスウィング時間の目安は15分間でそれ以上のスウィングはさけてください。)1日の使用時間は合計2～3時間が望ましい。

ご使用上の注意

表示内容について

- ・「警告」、「注意」、「禁止」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
禁止	絶対してはいけない内容です。

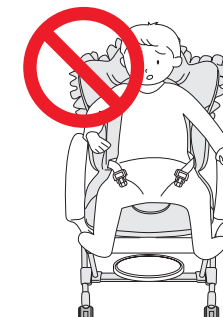
警告

- ・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

警告



お子さまが座高46cm
(参考月齢18月)未満の
ときは、肩ベルト、肩ベルト
カバーを外して使用しな
い。

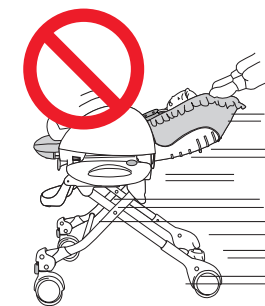


体重18kg、(参考月齢
48月)を超えるお子さま
に使用しない。

お子さまが落ち、けがをするおそれがあります。



腰ベルト、股ベルトを外
して使用しない。



お子さまを乗せたまま
走行させない。

はずみをつけたり、つき
放したりしない。

お子さまが落ち、けがをするおそれがあります。

(次ページに続く)

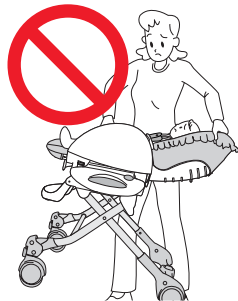
(前ページからの続き)

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

警告

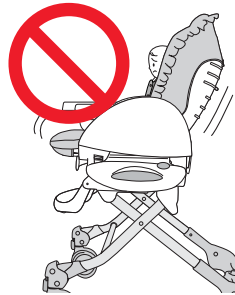


車輪、キャスターは平らな床面上で簡易な移動や向きを変えたりするためのものです。そのため、傾斜や段差のあるところで移動および使用しない。



お子さまを乗せたまま持ち上げない。

転倒したり、お子さまが落ち、けがをするおそれがあります。



スウィングポジション以外でスウィングしない。

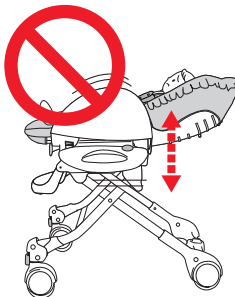


お子さまを乗せたまま一人で放置しない。

スウィングさせる時以外、スウィングロックを解除しない。

テーブルなどの間に手足などを挟み、けがをするおそれがあります。

転倒したり、お子さまが落ち、けがをするおそれがあります。



お子さまを乗せたまま高さ調節をしない。



ストーブなどの危険物の近くで使用しない。

思わぬ危険をまねくおそれがあります。



スウィングは保護者が行い、必ず付き添っていること。また繰り返しスウィング時間の目安は15分間であり、それ以上のスウィングは避けること。

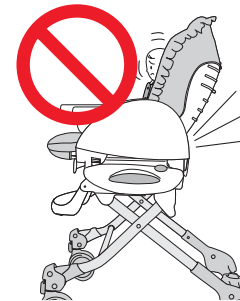


お子さまに衝撃が加わるほど強くスウィングさせない。

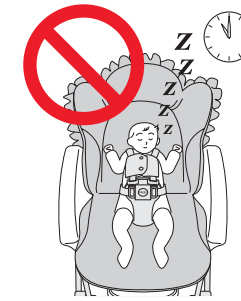
思わぬ危険をまねくおそれがあります。

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

警告

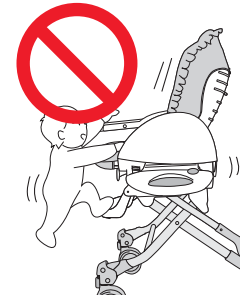


首や腰が安定していないお子さまの使用時は、リクライニングを起こさない。

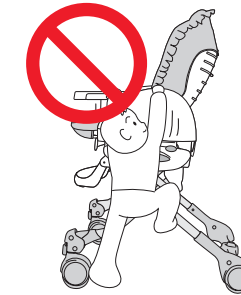


一時的なお昼寝などには使用できますが、夜間就寝用など長時間のベッドとして使用しない。

思わぬ危険をまねくおそれがあります。



お子さま一人で乗り降りさせない。



お子さまが手を掛けたり、よじ登ったりなど、外から力を加えない。

転倒したり、お子さまが落ち、けがをするおそれがあります。

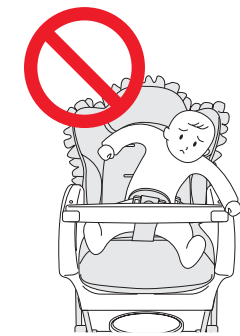


お子さまを座席や背もたれ、ステップなどに立たせない。

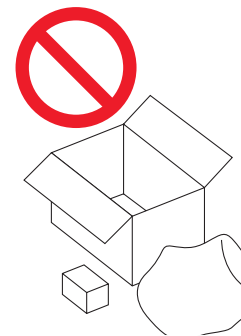


2人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。

転倒したり、お子さまが落ち、けがをするおそれがあります。



お子さまの身体をテーブルや手すりから乗り出させない。



製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。

思わぬ危険をまねくおそれがあります。

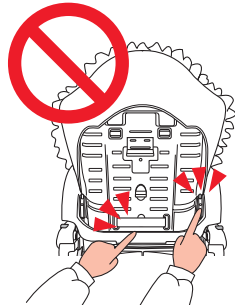
お子さまがかぶったり、誤飲して窒息するおそれがあります

(次ページに続く)

(前ページからの続き)

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

警告

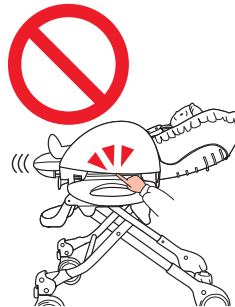


リクライニング操作時は背もたれなどで手、指などを挟まないように注意してください。

手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。

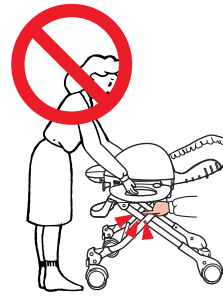


リクライニング操作時は座面などで手、指などを挟まないように注意してください。

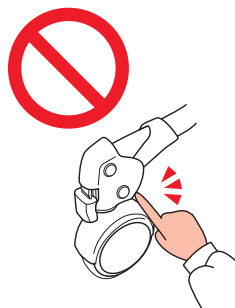


スウィング中は本体などで手、指などを挟まないように注意してください。

手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。



高さ調節をする時は脚などで手、指などを挟まないように注意してください。



移動時は車輪、キャスターの回転部などで手、指などを挟まないように注意してください。

手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。



テーブル取り付け時は本体などで手、指などを挟まないように注意してください。

注意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

注意

- ・ネジやナット類が緩んでいないこと。
- ・ストッパーをロックしていても、お子さまが乗っている時は目を離さない。構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。
- ・簡易なベッド状態は新生児からお座りができる(参考月齢7月)まで以外のお子さまに使用しない。
- ・チェア状態は腰がすわってから(お座りができる)48月(体重18kg以下)以外のお子さまに使用しない。
- ・股ベルトの出しろは必ず5cm以上残す。
- ・腰ベルトの出しろは必ず3cm以上残す。
- ・高さ調節やリクライニング操作、移動、テーブルの脱着などは必ず保護者がおこない、お子さまにさせない。
- ・高さ調節時、リクライニング操作時は、お子さまを廻りに近づけない。
- ・シートを外した状態では、お子さまを乗せない。
- ・火の近くに放置しない。
- ・その他、故障の原因となるようなことはしない。
- ・保護者の目の届く範囲で使用し、絶対にお子さまを一人で放置しない。

禁止事項

・次のようなことは絶対にしないでください。

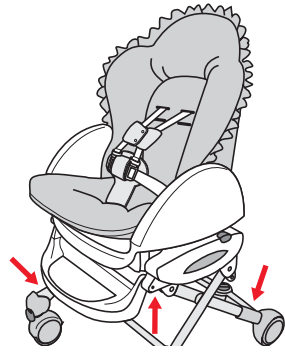
禁止

- ・当社サービス員以外の分解・組立・改造。
- ・ネジ、ナットなどを外しての使用。
- ・シートを外した状態の使用。
- ・荷物などの運搬のための使用。
- ・落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった後の使用。
- ・お子さまの遊び道具としての使用。
- ・保護者、介添者などが寄り掛かったり、椅子など腰掛けとしての使用。
- ・踏み台としての使用。
- ・車輦の中での使用。
- ・屋外で使用。
- ・屋外に放置し雨などにさらした後の使用。
- ・その他、お子さまを乗せる以外の目的での使用。

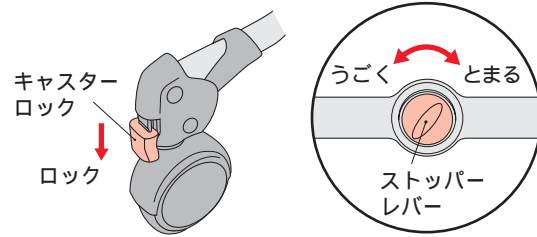
ご使用前の点検

・使用前には必ず各部を点検してください。

ネジ
使用前には、必ずハイローベッド&チェアのネジの緩みのないことをドライバーなどで確認してください。



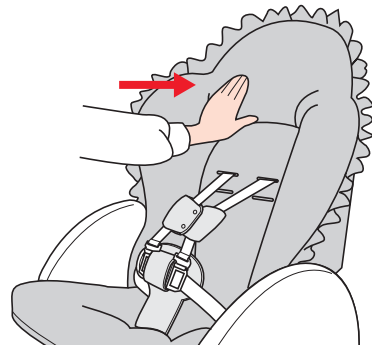
キャスターロック・ストッパー
車輪のキャスターロックをロックして、ストッパーを「とまる」にして、ハイローベッド&チェアが動かないことを確認してください。



△注意

・構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。

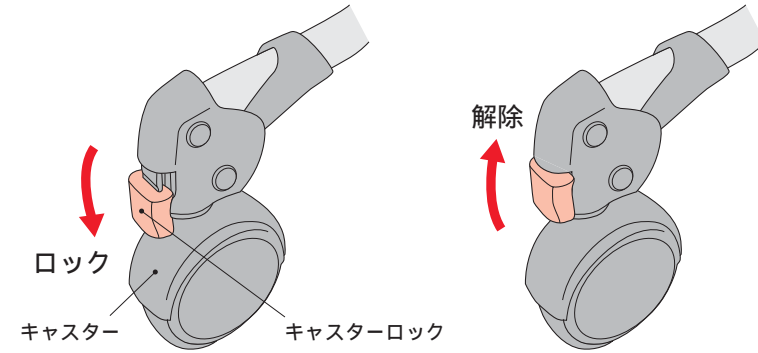
リクライニング
使用前にはシートの背もたれ部分をpushして異常のないことを確かめてください。



万一、破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず当社サービス員の点検、修理を受けてください。

操作方法

キャスターロックの使い方



操作は必ず左右とも行ってください。

△警告

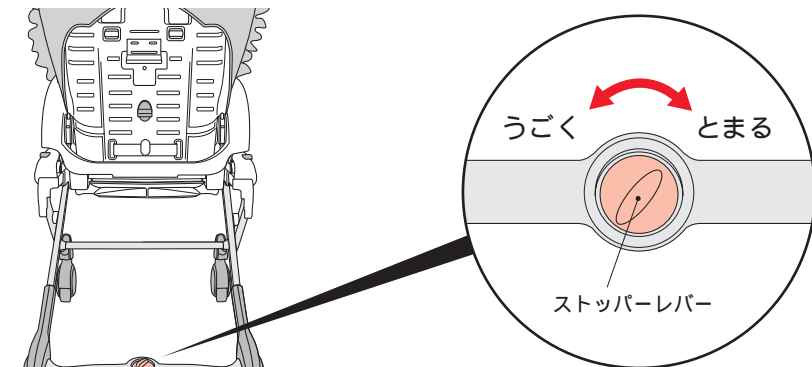
・移動の時以外は、必ずキャスターをロックする。
・移動時は車輪、キャスターの回転部などで手、指などを挟まないように注意してください。

△注意

・スウィングさせるときは、必ずキャスターをロックしてください。

ストッパーの使い方

・移動の時以外は、ストッパーを「とまる」にしてください。



移動したり、向きを変える時はストッパーレバーを「うごく」にします。

△警告

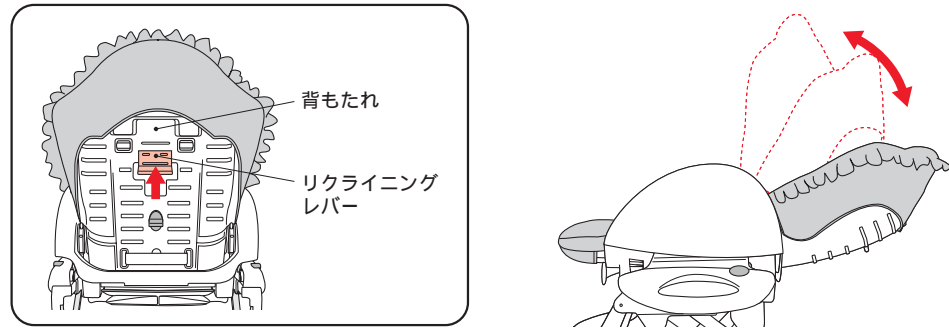
・移動の時以外は、必ずストッパーを「とまる」にする。

△注意

・ストッパーを「とまる」にしても、お子さまが乗っている時はハイローベッド&チェアから目を離さない。構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。

リクライニングの方法

・お子さまの首、腰がずわるまでは、リクライニングをいちばん寝かせた角度にして使用してください。



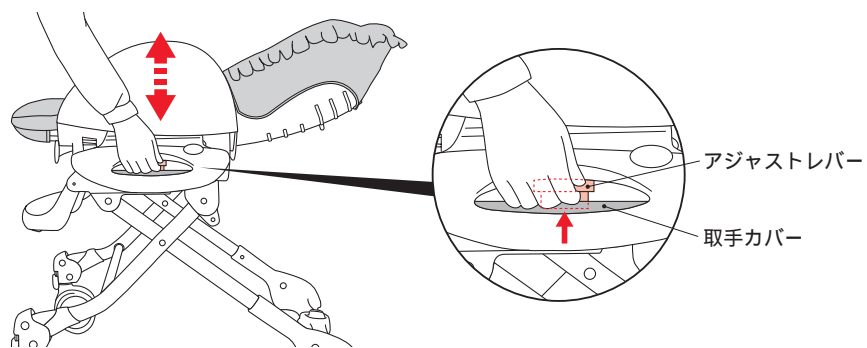
- ①リクライニングレバーを引いて背もたれの角度をかえます。
- ②お使いになる角度で、リクライニングレバーを戻します。
- ③背もたれが動かないことを確認してください。(9ページ参照)
- ④リクライニングの角度をかえると肩ベルト・股ベルトの長さが変わります。肩ベルト・股ベルトの長さ調節をします。



警告

・リクライニング操作時は、背もたれ、座面などで手、指などを挟まないように注意してください。

高さ調節の方法



- ①取手カバー内側のアジャストレバー(左右)を押し上げ、ボディを上下させます。
- ②使用する高さでアジャストレバーを離し、左右とも同じ高さでロックさせます。

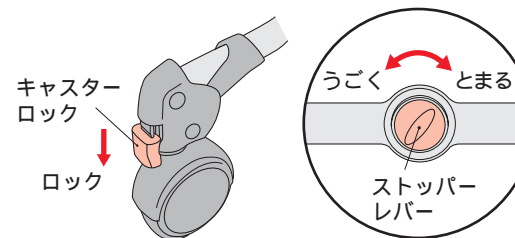


警告

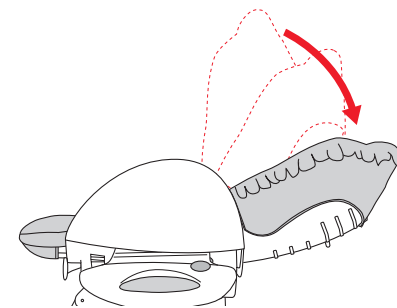
・お子さまを乗せたままで高さ調節をしない。
・高さ調節をする時は脚などで手、指などを挟まないように注意してください。

スウィングの使い方

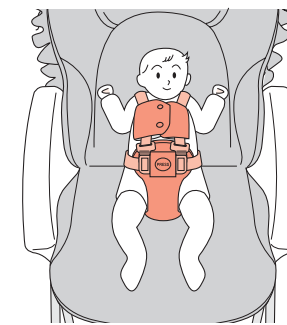
・お子さまの体重9kg(参考月齢約7月)頃までです。



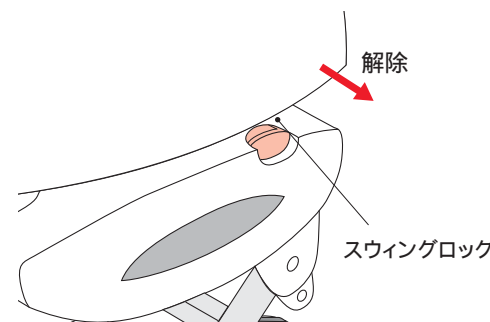
- ①スウィングさせる時は必ず左右のキャスターをロックし、後輪のストッパーを「とまる」にします。



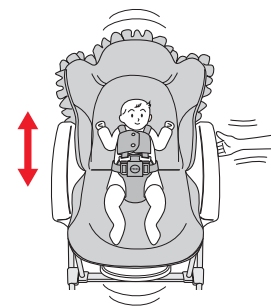
- ②リクライニングをスウィングポジション(いちばん寝かせた角度)にします。



- ③お子さまを乗せシートベルトを正しく装着します。



- ④左右のスウィングロックを解除します。



- ⑤手で本体部分を押し、スムーズに動く範囲でスウィングさせます。

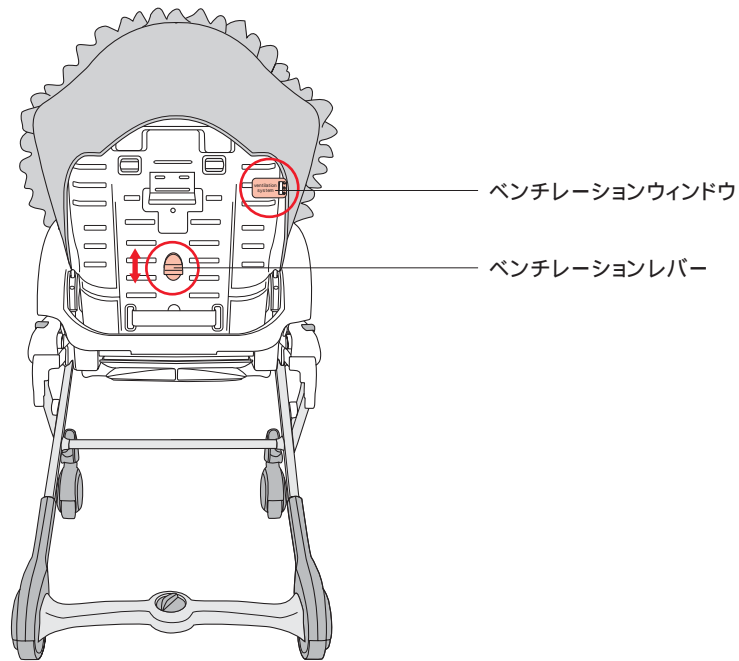


警告

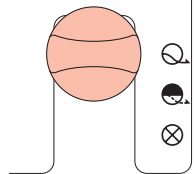
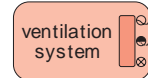
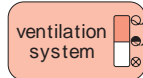
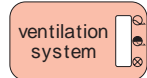
・スウィングポジション以外ではスウィングさせない。
・スウィングさせる時以外、スウィングロックを解除しない。
・お子さまに衝撃が加わるほど強くスウィングさせない。
・スウィングは保護者が行い、必ず付き添っていること。また繰り返しスウィング時間の目安は15分間であり、それ以上のスウィングは避けること。
・スウィング中は本体などで手、指などを挟まないように注意してください。

ベンチレーションの使い方

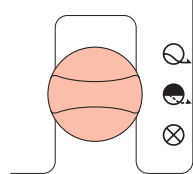
・ベンチレーションとは、本体の背もたれとシートとの間の通気を調節するシステムです。



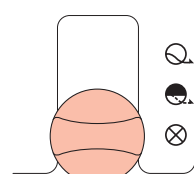
ベンチレーションウィンドウの表示



全開



半開

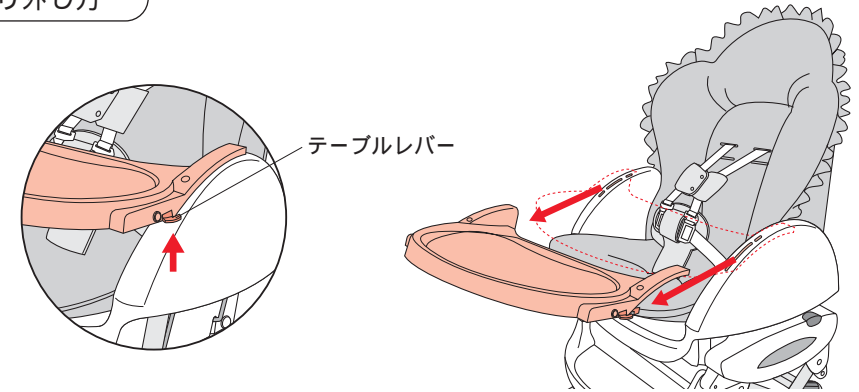


閉

ベンチレーションレバーを切り替えて通気を調節します。

テーブルの使い方

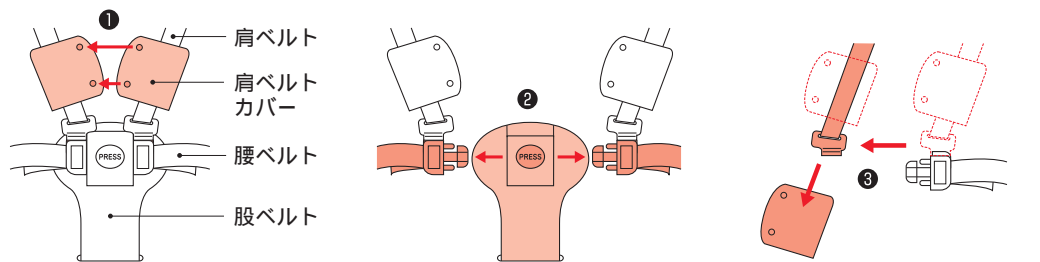
取り外し方



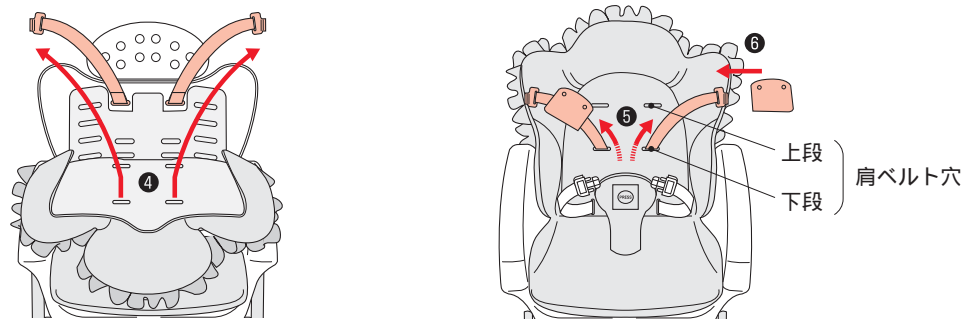
テーブルの両側にあるテーブルレバーを上へあげた状態でテーブルを本体から抜き取ります。

お子さまを乗せる前に

肩ベルト位置の調節方法



- ① 左右の肩ベルトカバーのフックを外します。
- ② 股ベルトの「PRESS」部を押して腰ベルトを外します。
- ③ 腰ベルトから肩ベルトを外し、肩ベルトカバーを外します。



- ④ シートの背もたれ部分をめくり、肩ベルトをシートから抜き取ります。
- ⑤ 肩ベルトを使用するシートの肩ベルト穴に通し、シートを取り付けます。
- ⑥ 肩ベルトカバーを取り付け腰ベルトに差し込みます。

- ・ 肩ベルトの調節は、お子さまの成長に合わせて、肩ベルト穴の位置変更で行います。
- ・ 座高46cm（参考月齢18月）以上のお子さまは肩ベルトを必ず取り外して下さい。

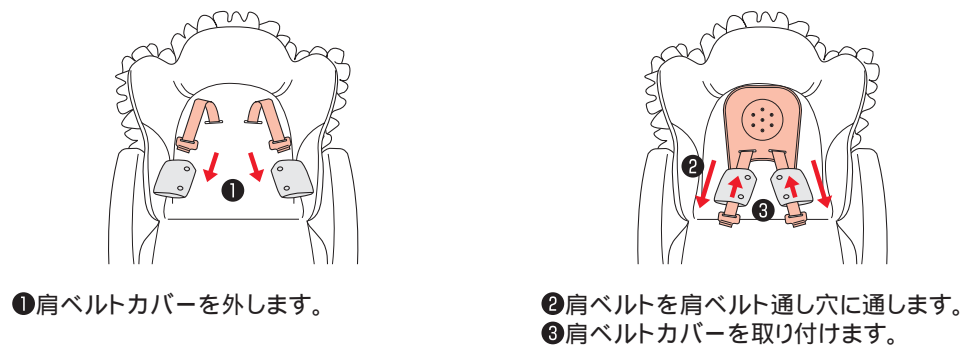
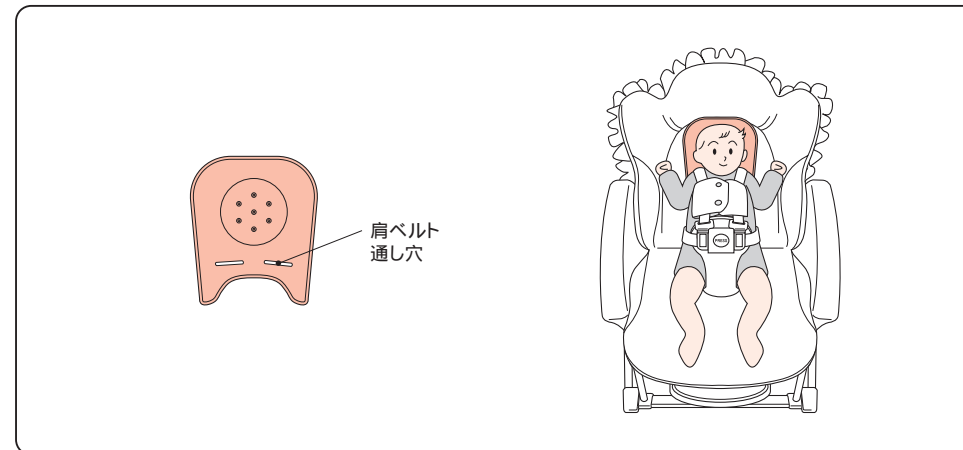
月齢(体格)の目安	肩ベルト穴の位置
2月頃まで	下段
3月頃から	上段
座高460mm (参考月齢18月)以上	使用できません



警告
 ・ お子さまの落下防止のため、肩ベルト、肩ベルトカバーを外して使用しない。
 ただし、座高46cm(参考月齢18月)以上のお子さまには肩ベルト、肩ベルトカバーは取り外す。

気道閉塞マモールパッドの取り付け方 採用機種のみ

・ 気道閉塞マモールパッドはベッド状態で使用すること。

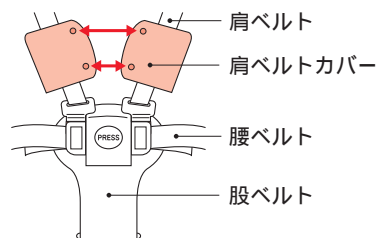


- ① 肩ベルトカバーを外します。
- ② 肩ベルトを肩ベルト通し穴に通します。
- ③ 肩ベルトカバーを取り付けます。

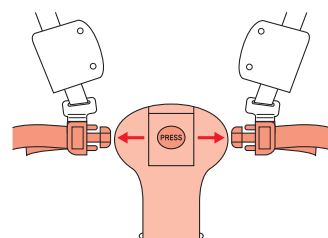
お子さまの乗せ方

・お子さまが簡易なベッド状態でご使用になる時間は、1回あたり30分～1時間が適当です。1日あたりの合計では2～3時間が望ましい。

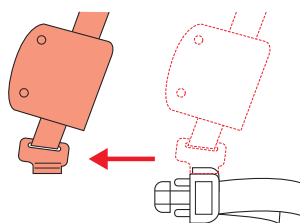
腰ベルトの外し方



①左右の肩ベルトカバーのホックを外します。

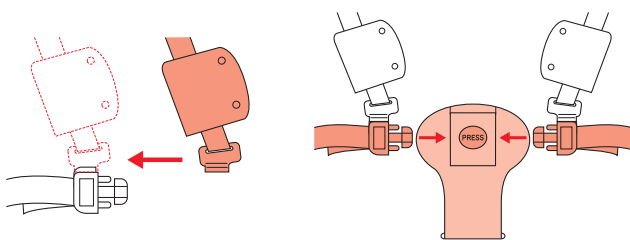


②股ベルトの「PRESS」部を押して腰ベルトを外します。

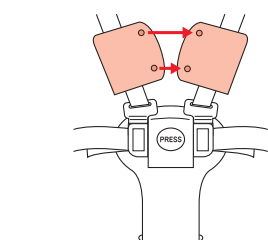
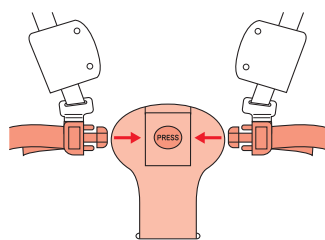


③腰ベルトから肩ベルトを外します。

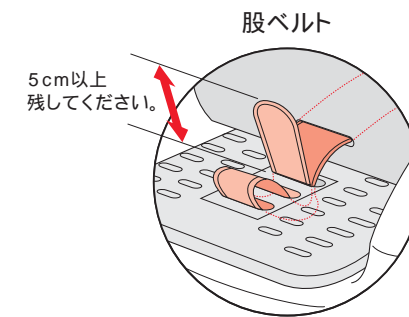
腰ベルトの装着方法



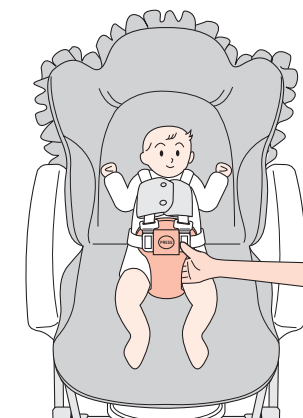
①お子さまをシートに乗せて、腰ベルトに肩ベルトを差し込み、股ベルトにとめます。



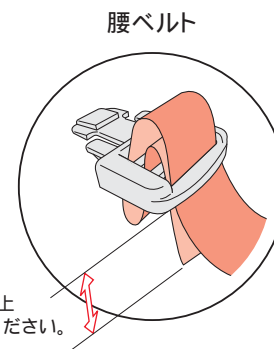
②左右の肩ベルトカバーをとめます。



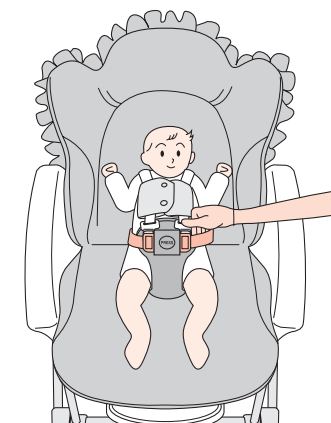
③シートとクッションマットをめくって股ベルトの長さを調節します。



④股ベルトの長さは、股ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。



⑤腰ベルトの長さを調節します。



⑥腰ベルトの長さは、腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。

⚠ 警告

- ・お子さまが座高46cm(参考月齢18月)未満の時は、肩ベルト、肩ベルトカバーを外して使用しない。
- ・腰ベルト、股ベルトを外して使用しない。

⚠ 注意

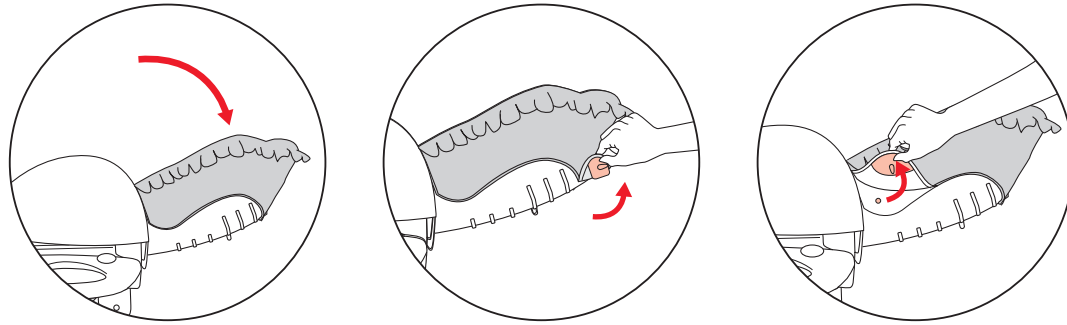
- ・シートベルトは、身体に合わせて必ず長さを調節する。
- ・肩ベルトカバーは、必ず左右のホックをとめて使用する。
- ・③の股ベルトの出しろ(← → の部分)は必ず5cm以上残す。
- ・⑤の腰ベルトの出しろ(← → の部分)は必ず3cm以上残す。

・気道閉塞マモールパッド 採用機種のみ をご使用になる場合も、同じ手順で装着してください。

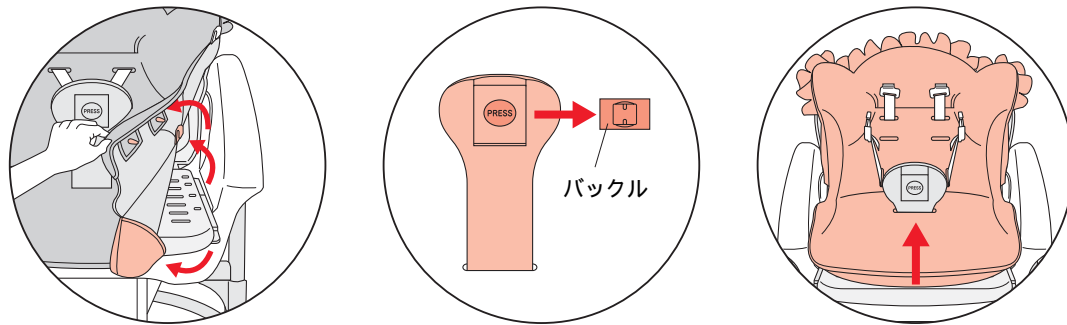
シートの取り外し方

シートのクリップの取り外しについて

・ハイローベッド本体より、シートハンモックを取り外す際、「クリップ」を本体より外します。この「クリップ」はお子さまの力では外すことが出来ないよう安全性を考慮している為、固く取り付けられております。取り外しの際は、おげがなどなされませんようご注意ください。



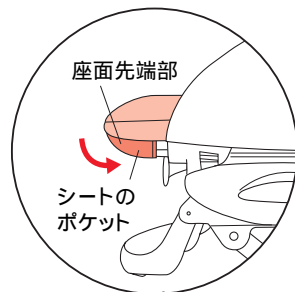
- ①リクライニングをスウィングポジションまで倒します。
- ②背面のクリップを外します。(左右)
- ③側面のクリップを外します。(左右)



- ④座面先端部のシートのポケットを外し、シート座部の2ヶ所のクリップとフックを外します。(左右)
- ⑤股ベルトからバックルを取り外します。
- ⑥シートから肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを抜いてシートを取り外します。

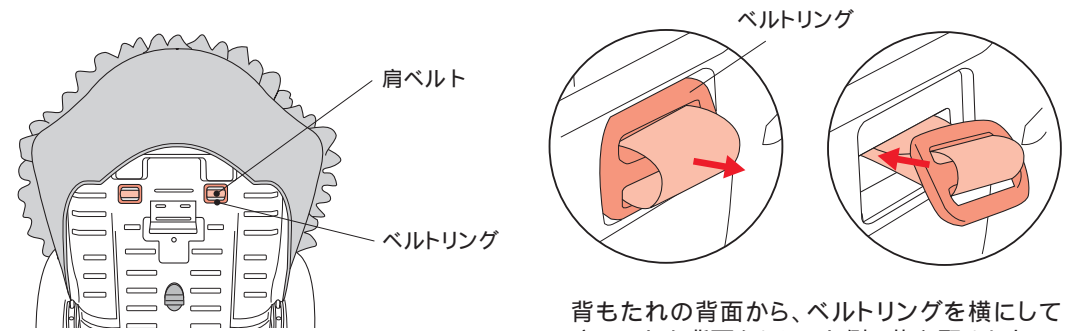
注意 ・シートを外した状態では、お子さまを乗せない。

シートを取り付ける時



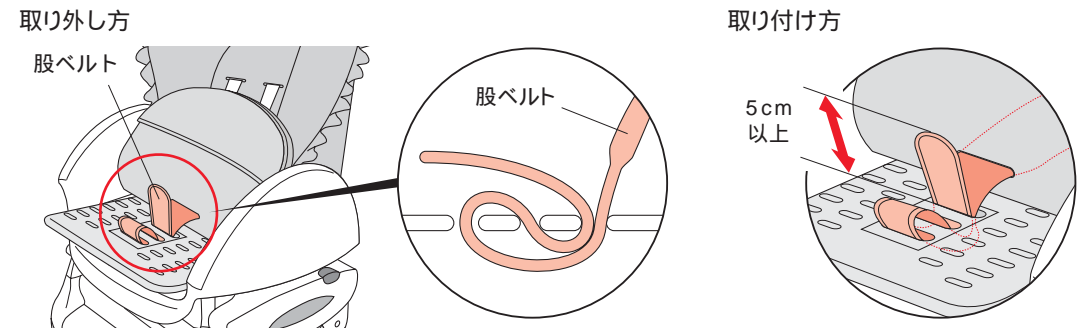
・取り外し方の逆の手順で行い、座面先端部にシートのポケットを必ず被せてください。

肩ベルトの取り外し方



背もたれの背面から、ベルトリングを横にして肩ベルトを背面からシート側に抜き取ります。

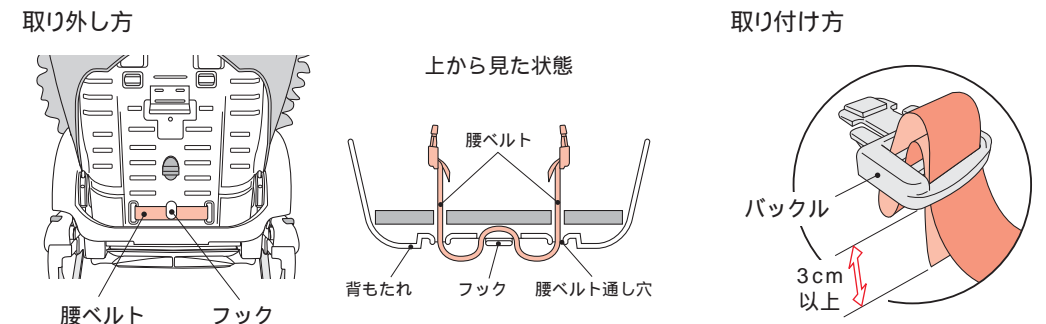
股ベルトの取り付け・取り外し方



股ベルトをゆるめて穴から抜き取ります。

注意 ・股ベルトの出しろ(↔の部分)は必ず5cm以上残す。

腰ベルトの取り付け・取り外し方



- ①腰ベルトを背もたれの腰ベルト通し穴から抜き取り、フックから外します。
- ②腰ベルトのバックルを取り外します。

- ①取り付ける時は、背もたれに通してからフックに引っかけてください。
- ②バックルの表裏に注意してください。

注意 ・股ベルトの出しろ(↔の部分)は必ず3cm以上残す。

縫製品のお手入れ方法



樹脂部分のお手入れ方法

- ・汚れは、水にひたして固く絞った布で拭き取ってください。汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤で拭き取った後、乾いた布で仕上げてください。

金属・パイプなどのお手入れ方法

- ・フレームについたホコリなどは、そのまま放置しないで必ず拭き取ってください。拭き取りにはよく絞ったぬれタオルを使用してください。

△ 注意

- ・拭き取りには、シンナー、ベンジンなど揮発性の溶剤を使用しないでください。

車輪のお手入れ方法

- ・車輪の汚れがひどいときには、中性洗剤で拭き取ります。その後、よく絞ったぬれタオルで仕上げてください。

△ 注意

- ・シンナー、ベンジンなど揮発性の溶剤を使用しないでください。
- ・車輪の汚れがひどいと、床面上ですべる場合があります。

保証とアフターサービスについて

- ・アフターサービスについて
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえお買い上げの販売店または、当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

- ・保証期間中（お買い上げ日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。ただし、ご購入日より4年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1カ月です。）
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。）

アフターサービスについての連絡先

アプリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

電話連絡先

お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**

受付時間：AM10:00～PM5:00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

製品をお送りいただく場合のみの宛先

〒632-0221 奈良県奈良市都祁白石町1397-1 アプリカ 奈良サービスセンター ☎(0743)84-2050

保管のしかた

- ・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
- ・夏季の高温になる場所での保管は避けてください。
- ・荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

廃棄方法

- ・お住まいの各自自治体の指示にしたがって処分してください。
（地球環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。）

SGマークについて



SGマークが表示されたハイローベッド&チェアは安心してお使いいただけます。

SGマークが表示されたハイローベッド&チェアは安心してお使いになれますが、消費者の皆さまが正常に使用していた時、製品の欠陥により万一事故が発生し、お子さまが損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償致します。但しご購入後4年以内です。

賠償についてのご注意

- ・認定したハイローベッド&チェアそのものが故障したとしても、その品質について保証するということではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
- ・生産物賠償責任保険の保険金は、それぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

賠償金の請求について

- ・傷害を被った消費者（お子さまなどの場合は保護者でもよい）が賠償金を請求する時は、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定する処に届けて下さい。

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3303

事故賠償に必要な項目

事故の原因となったSGマーク表示の製品

イ) 製品の名前、SGマーク番号 ロ) 製品の購入先、購入年月

事故発生状況

イ) 事故発生年月日 ロ) 事故発生場所 ハ) 事故発生状況

被害の状況

イ) 被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所 ロ) 被害の状況と程度（医師の証明書）